

三遠南信シンクタンク連携連絡会

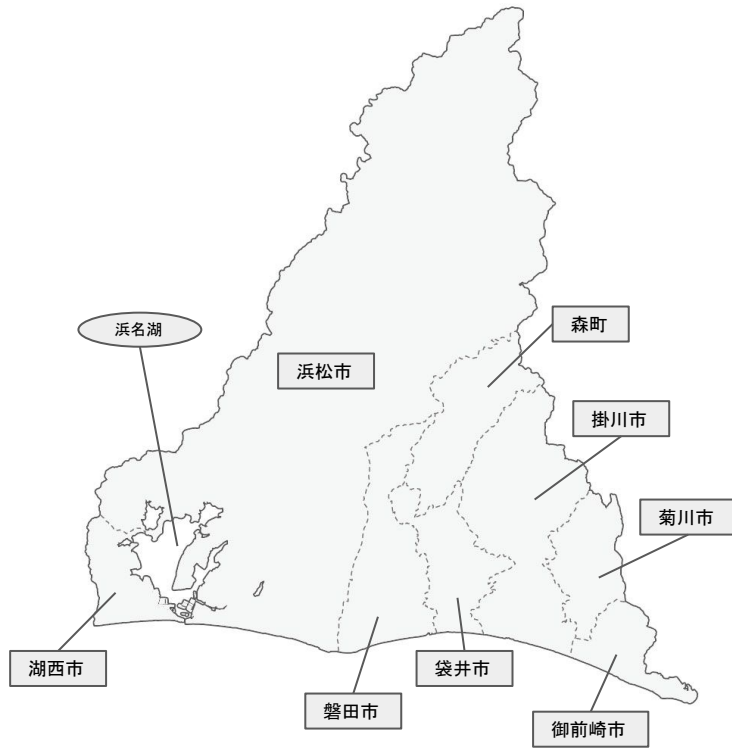
# 遠州地域の「人口」

一般財団法人しんきん経済研究所

# 《目 次》

1. 遠州地域の人口の状況
2. 「外国人人口の推移」および「在留外国人の国別統計」
3. 人口構造の変遷
4. 遠州地域の「合計特殊出生率」
5. 遠州地域の「婚姻件数」
6. まとめ

# 1. 遠州地域(静岡県西部地域)の人口の状況



・遠州地域は、浜松市・磐田市・掛川市・袋井市・湖西市  
・御前崎市・菊川市・森町の市1町。

・遠州地域の人口は、2005年の約134万人をピークに減少が続いている。

①2020年は1,314,442人となり、2005年との比較で約3万人(2%)減少した。

②静岡県で2015年から2020年にかけて人口が増加している市町は、袋井市・菊川市・掛川市・長泉町の市(町)のみ。

③最近では将来人口の推計値より実績値のほうが上回る傾向にある。

(国立社会保障・人口問題研究所:以下、「社人研」という。)

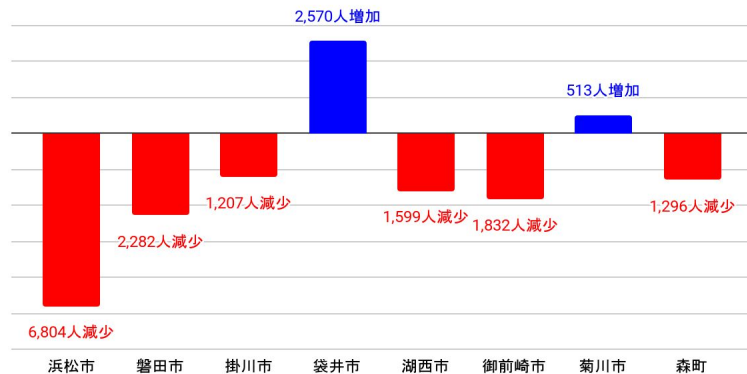
④2045年の将来人口は約14万人で、2020年より約17万人(13%)減少する見込み。

## ①2020年は1,314,442人となり、2005年との比較で約3万人(2%)減少した

2005年から2020年の市町別および男女別人口の推移を比較したところ、総人口が増加している袋井市が【男性】、【女性】ともに増加していた。菊川市は【男性】が増加、【女性】は減少していた。その他の市町は全て減少となっている。

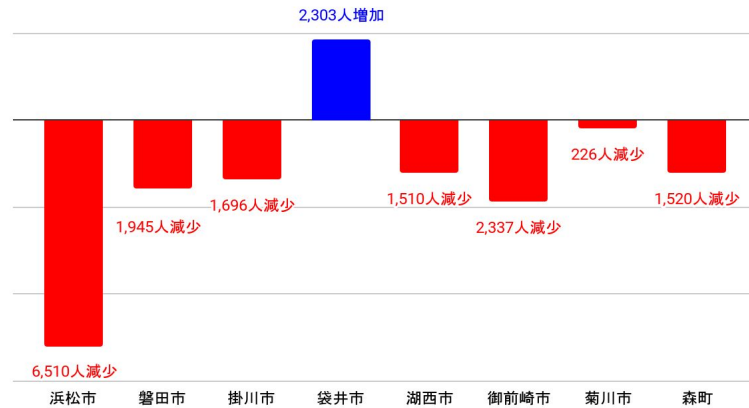
- ・袋井市 男性2,570人増加、女性2,303人増加(総人口4,873人増加)
- ・菊川市 男性513人増加、女性226人減少(総人口287人増加)

【男性】2005年と2020年の比較



2005年および2020年の「国勢調査」を加工

【女性】2005年と2020年の比較

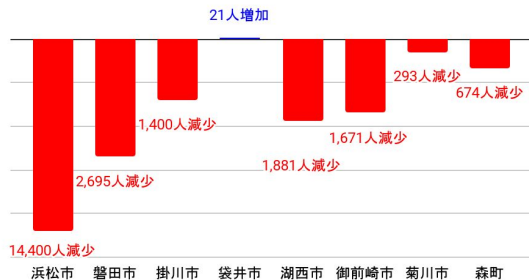


2005年および2020年の「国勢調査」を加工

## ①2020年は1,314,442人となり、2005年との比較で約3万人(2%)減少した

- ・2005年から2020年の市町別および年代別人口の推移を比較したところ、15歳未満で袋井市が21人増、その他の市町は全て減少となっている。
- ・15～64歳未満は全ての市町で減少となっているが、袋井市は ▲2,248人で一番減少数が少ない。
- ・65歳以上は全ての市町において増加となり、高齢化が進んでいる。

【15歳未満】2005年と2020年の比較



2005年および2020年の「国勢調査」を加工

【15～64歳】2005年と2020年の比較



2005年および2020年の「国勢調査」を加工

【65歳以上】2005年と2020年の比較

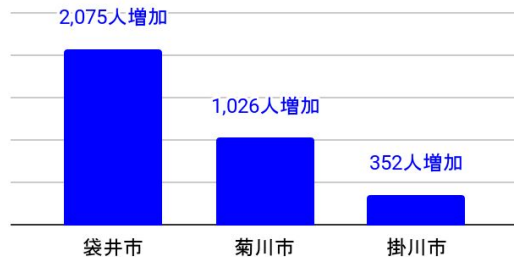


2005年および2020年の「国勢調査」を加工

2005年から2020年の人口推移において「袋井市」のみが増加となっており、2060年の人口8万人維持を目標に、子育て世帯の転出入の増加と女性の社会進出に力を入れている。

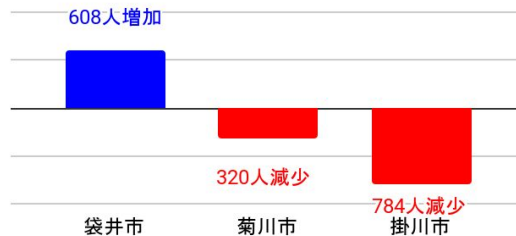
②静岡県で2015年から2020年にかけて人口が増加している市町は、袋井市・菊川市・掛川市・長泉町の4市(町)のみ

【総人口】2015年と2020年の比較



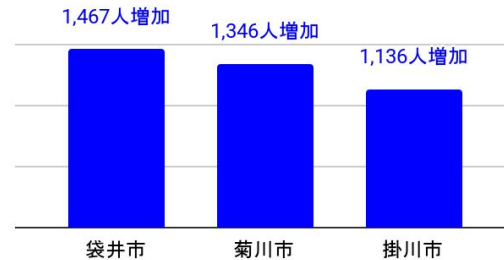
2015年および2020年の「国勢調査」を加工

【日本人】2015年と2020年の比較



2015年および2020年の「国勢調査」を加工

【外国人他】2015年と2020年の比較



2015年および2020年の「国勢調査」を加工

【2015年から2020年にかけて増加した遠州地域の3市について調査】

- ・袋井市は日本人、外国人共に増加している。
- ・菊川市および掛川市は日本人が減少し、外国人が増加している。
- ・3市に共通して言えることは、外国人による人口増加が寄与している。

### ③最近は将来人口の推計値より実績値のほうが上回る傾向にある

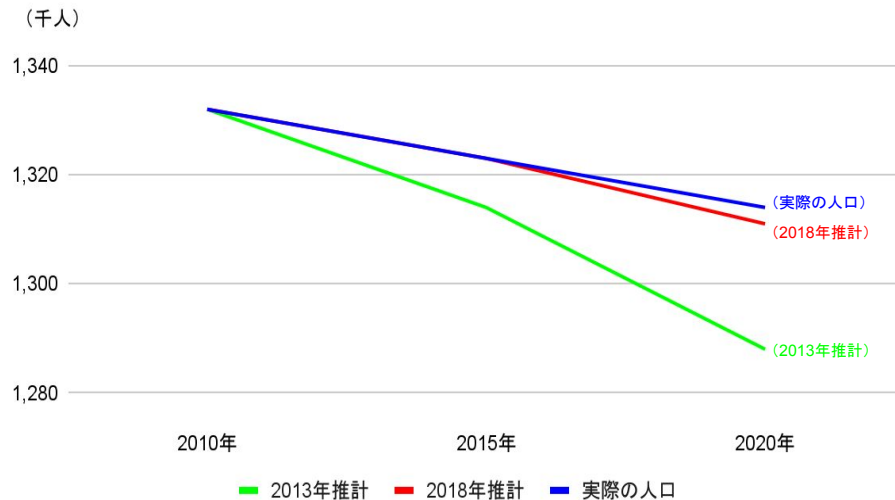
#### 「推計人口と実際の人口推移」

- ・2013年推計および2018年推計とも、実際の人口は推計値よりも上回っている。
- ・地域別人口の場合、転出入による移動率を考慮する必要があり、地域間の移動率が地域別の将来推計人口には大きく影響する。

(単位:千人)

	2010年	2015年	2020年
2013年推計	1,332	1,314	1,288
2018年推計	1,332	1,323	1,311
実際の人口	1,332	1,323	1,314

遠州地域の人口推計(推移)  
2013年推計および2018年推計と実際の人口推移比較



出典:「国勢調査」の実数値および「社会保障・人口問題研究所」の推計値を加工

### ③最近は将来人口の推計値より実績値のほうが上回る傾向にある

2013年推計	2020年 (予想)	2020年 (実数)	差異
浜松市	775,839	790,718	14,879
磐田市	161,338	166,672	5,334
掛川市	111,657	114,954	3,297
袋井市	85,832	87,864	2,032
湖西市	57,564	57,885	321
御前崎市	33,016	31,103	-1,913
菊川市	45,332	47,789	2,457
森町	17,729	17,457	-272
遠州地域	1,288,307	1,314,442	26,135

2018年推計	2020年 (予想)	2020年 (実数)	差異
浜松市	793,479	790,718	-2,761
磐田市	165,274	166,672	1,398
掛川市	112,434	114,954	2,520
袋井市	86,218	87,864	1,646
湖西市	59,190	57,885	-1,305
御前崎市	30,468	31,103	635
菊川市	46,302	47,789	1,487
森町	17,582	17,457	-125
遠州地域	1,310,947	1,314,442	3,495

2013年および2018年の「社会保障・人口問題研究所」の推計値を加工

「人口推計」は、過去の傾向に基づいて推計

・2013年推計と2020年の人口を市町別に比較してみると、御前崎市 (94.2%)と森町(98.5%)は下回っていた。

・浜松市は101.9%、磐田市は103.3%、掛川市は103.0%、袋井市は102.4%、湖西市は100.6%、菊川市は105.4%となっている。

・同様に2018年推計を2020年の人口と比較してみると、浜松市 (99.7%)、湖西市(97.8%)、森町 (99.3%)が下回っていた。一方、御前崎市 (102.1%)は上回っていた。

・磐田市は100.8%、掛川市は102.2%、袋井市は101.9%、菊川市は103.2%となっている。

最近は、実績値が上回る傾向にある。



## ④2045年の将来人口は約114万人で、2020年より約17万人(13%)減少する見込み

### 「2000年を100とした場合の人口推移」

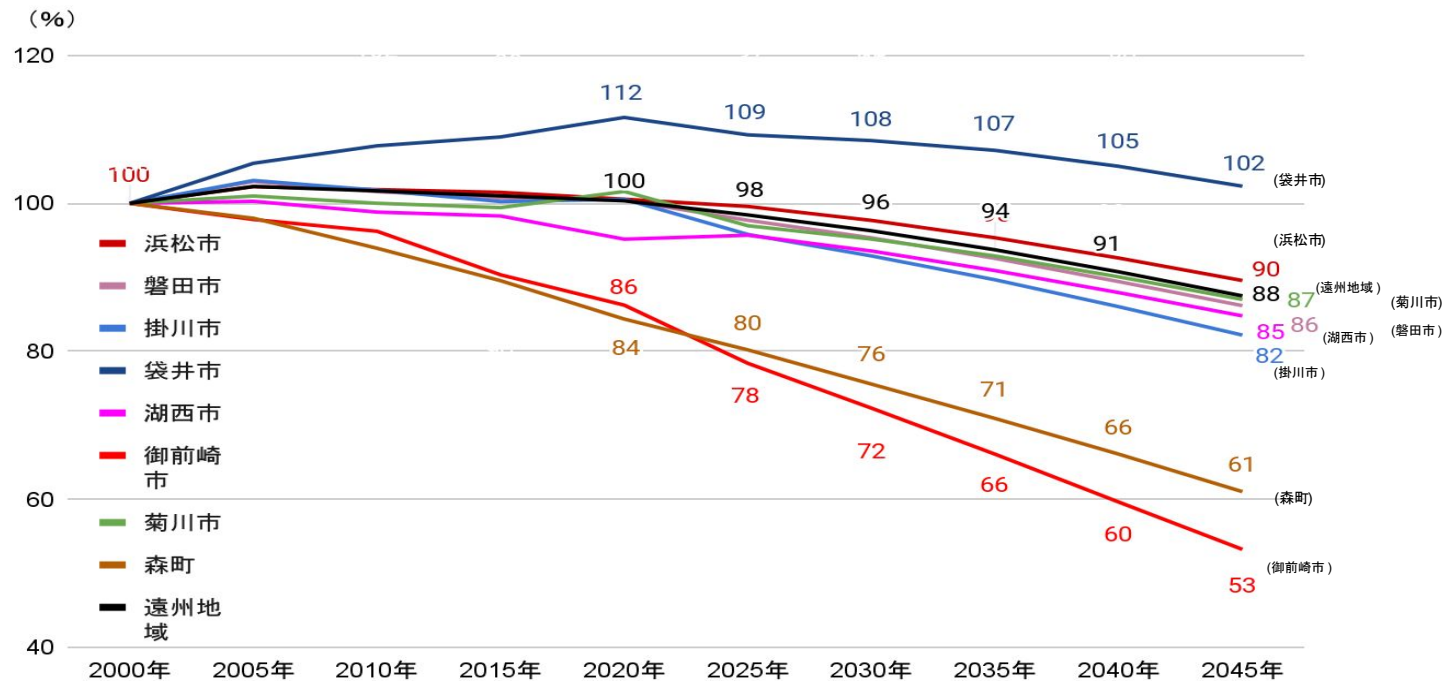


図1: 2000年を100とした場合の遠州地域各市町の人口推移

## ④2045年の将来人口は約114万人で、2020年より約17万人(13%)減少する見込み

	人口総数 (人)					将来人口総数 (人)				
	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
浜松市	786,306	804,032	800,866	797,980	790,718	782,990	768,177	749,726	728,238	704,349
磐田市	166,002	170,899	168,625	167,210	166,672	162,206	158,274	153,657	148,458	143,073
掛川市	114,328	117,857	116,363	114,602	114,954	109,534	106,208	102,527	98,373	93,992
袋井市	78,732	82,991	84,846	85,789	87,864	86,010	85,401	84,361	82,667	80,552
湖西市	60,827	60,994	60,107	59,789	57,885	58,207	56,912	55,303	53,497	51,585
御前崎市	36,059	35,272	34,700	32,578	31,103	28,271	26,088	23,846	21,517	19,214
菊川市	47,036	47,502	47,041	46,763	47,789	45,613	44,767	43,692	42,368	40,935
森町	20,689	20,273	19,435	18,528	17,457	16,596	15,640	14,680	13,684	12,636
遠州地域	1,309,979	1,339,820	1,331,983	1,323,239	1,314,442	1,289,427	1,261,467	1,227,792	1,188,802	1,146,336

出典：2020年までは「国勢調査」の実数値を、2025年以降は「社会保障・人口問題研究所」の推計値を加工

#### ④2045年の将来人口は約114万人で、2020年より約17万人(13%)減少する見込み

- ・2045年の将来人口で袋井市は102%と増加見込み
- ・浜松市・磐田市・掛川市・湖西市・菊川市は概ね8～9割程度で推移
- ・森町は61%、御前崎市は53%まで落ち込むと予想されている
- ・遠州地域の2045年将来人口は、2000年と比較して88%まで減少する見込み
- ・各市町は「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」を策定し、人口増加および人口減少を鈍化させることに力を入れている
- ・「女性の活躍」、「若者の活躍」、「高齢者が活躍」する街づくりを目指す

## 2. 外国人人口の推移

- ・遠州地域は外国人人口が比較的多い。
- ・2008年のリーマンショックで外国人労働者は職を失い、帰国する。
- ・2020年には再び増加傾向となっている。
- ・袋井市、湖西市、森町は、2005年と2020年比較で増加している。
- ・人口減少問題を解決するためには外国人の定住（受け入れ）も必要。
- ・多文化共生をより一層推進する。

外国人人口の推移

	2005年	2010年	2015年	2020年
浜松市	30,154	18,167	16,439	23,618
磐田市	8,990	4,839	5,275	8,056
掛川市	5,226	2,842	2,828	4,212
袋井市	3,400	2,486	2,375	4,641
湖西市	2,564	2,375	2,249	3,301
御前崎市	1,714	835	665	1,006
菊川市	3,796	2,413	2,187	3,612
森町	247	171	189	361
合計	56,091	34,128	32,207	48,807

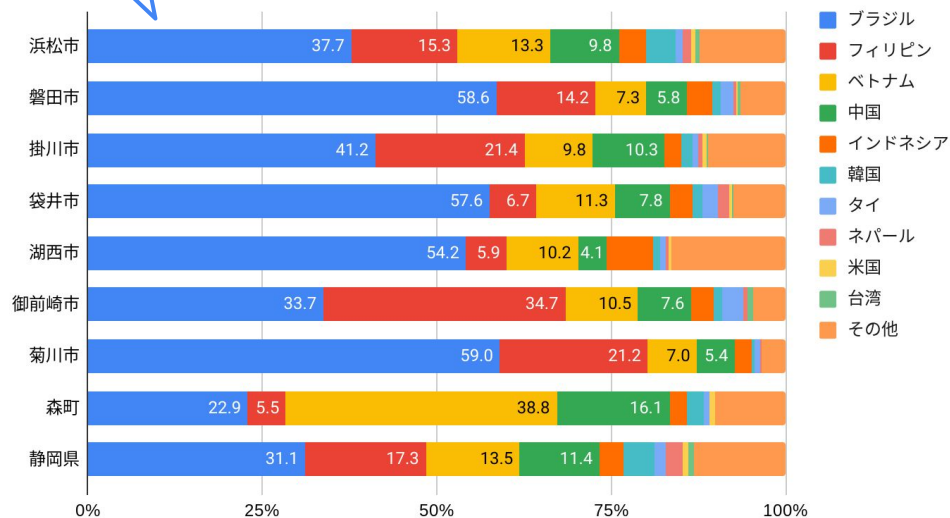
出典：国勢調査（総務省統計）を加工

## 2. 在留外国人の国別統計

磐田市、袋井市、湖西市、菊川市はブラジル人の比率が50%超

- ・遠州地域の在留外国人はブラジル人が多い。
- ・御前崎市はフィリピン人が最も多い。
- ・森町はベトナム人が最も多い。
- ・2010年頃から東・東南・南アジアの計 15カ国から外国人技能実習生を積極的に受け入れ。
- ・中国人実習生からベトナム人実習生へと移り変わり。(森町は比率高い)

「在留外国人統計」統計表（2020年12月末現在）



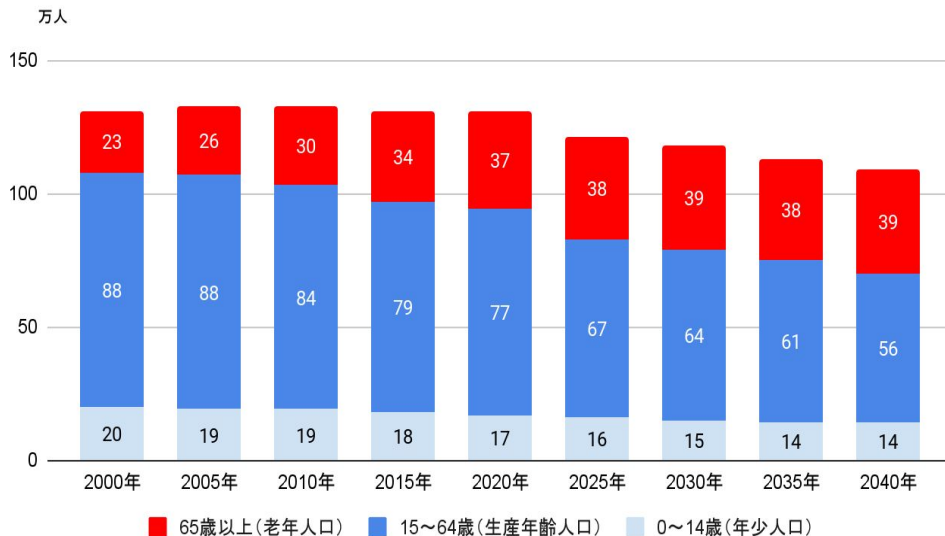
出典：法務省「在留外国人統計（旧登録外国人統計）統計表2020年12月」を加工

### 3. 人口構造の変遷

「遠州地域の人口構造の変遷(出生率と社会移動率)」

- ・2000年は年少人口(0～14歳)20万人  
" 老年人口(65歳以上)23万人  
とほぼ同数であった。
- ・2040年は**年少人口**(0～14歳)14万人(**6万人減**)  
" **老年人口**(65歳以上)39万人(**16万人増**)  
となり、少子高齢化がより一層進む。
- ・生産年齢人口(15～64歳)は、2000年の88万人  
から56万人へと減少する見込み。
- ・32万人の労働力が減少する。(経済の縮小)
- ・2000年は高齢者1人を生産年齢者**3.82人**で支えていた  
のに対し、2040年には**1.45人**で支えることになる。

遠州地域の年齢別人口の将来人口推移



出典:2020年までは「国勢調査」の実数値を、2025年以降は「社会保障・人口問題研究所」の推計値を加工

年金等の社会保障給付が増加 ⇒ 現役世代の負担増加

## 4. 遠州地域の「合計特殊出生率」

- ・遠州地域における「合計特殊出生率」は、湖西市と森町を除く他の市は、静岡県の平均値(1.54)を上回っている。
- ・袋井市(1.76)は高い数値となっている。
- ・一方、森町(1.39)は10年前(1.50)と比較して0.11ポイント減少している。

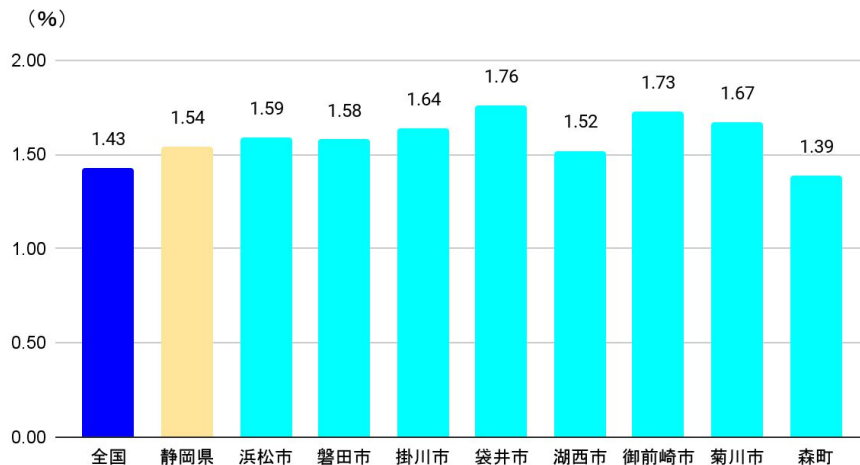
「出生率の向上」が人口減少を鈍化させる。

「出生数」を増加させるには、「婚姻件数の増加」も必要。

「出生率の減少」は将来的な生産年齢人口の減少につながる。

社会経済を担う年代が少なければ少ないほど、生産力や労働力が弱体化する。

市町別合計特殊出生率(2017年12月31日時点)



出典:厚生労働省「人口動態保健所・市町村別統計」を加工

# 5. 遠州地域の「婚姻件数」

遠州地域の婚姻件数は、2001年の8,539件をピークに2020年には5,185件と3,354件減少し、約4割の減少となっている。

・政府は、2023年から27年(5年間)に実施する新たな地域活性化策「デジタル田園都市国家構想」において、結婚や出産の増加に積極的な取り組みを行うと発表。

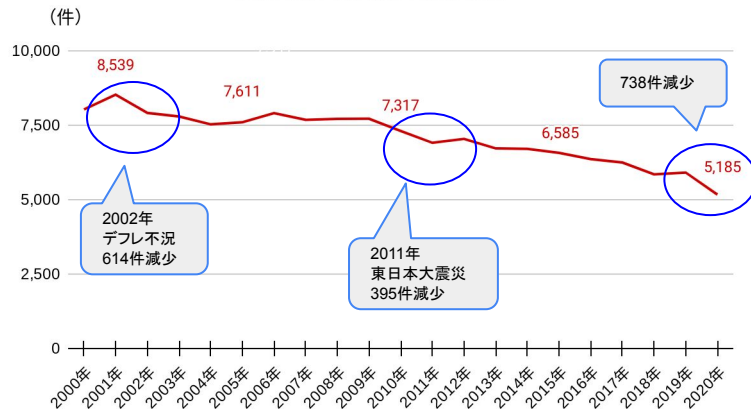
・最近では結婚に対する考え方が多様化してきている。

・2020年の減少は新型コロナウイルスによる影響と推測される。

	2019年	2020年
全国	599,007件	525,507件 (▲73,500件、87.7%)
静岡県	15,848件	13,846件 (▲2,002件、87.4%)
遠州地域	5,923件	5,185件 (▲738件、87.5%)

	2001年	2005年	2010年	2015年	2019年	2020年
全国	799,999	714,265	706,000	635,000	599,007	525,507
静岡県	24,019	21,056	20,323	17,666	15,848	13,846
浜松市	5,229	4,683	4,532	4,056	3,660	3,193
磐田市	1,029	916	857	808	731	634
掛川市	712	653	612	540	488	415
袋井市	544	541	515	480	442	378
湖西市	400	293	286	255	229	195
御前崎市	243	204	207	141	112	129
菊川市	280	239	236	242	202	203
森町	102	82	72	63	59	38
遠州地域	8,539	7,611	7,317	6,585	5,923	5,185

遠州地域の婚姻件数の推移



出典: 静岡県「静岡県人口動態統計」を加工



## 6. まとめ

このままだと、人口減少が進み  
年少人口や生産年齢人口の割合が低下



- ① デジタルの力を活用して地方に仕事をつくり、
- ② すべての人が活躍できる社会の仕組みにより、
- ③ 心身ともに豊かな生活を実現する。



- ・女性の活躍
- ・若者の活躍
- ・高齢者の活躍

ご清聴ありがとうございました

